

支え合い 共に生きる まちづくり

～大竹市地域福祉計画～



平成19(2007)年9月

大 竹 市

ごあいさつ

大竹市では、「優しさいっぱい多彩都市おおたけ」を将来都市像とする第四次大竹市総合計画をふまえ、介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画、次世代育成支援行動計画、障害者基本計画及び障害福祉計画など、市民の皆様の福祉を増進するための各種計画を策定し、計画的な取り組みを進めてまいりました。

しかしながら、昨今の少子・高齢化や核家族化の進行、人々の価値観の多様化などにより、福祉をとりまく課題も複雑・多様化してきております。

こうした中、将来にわたって、市民の皆様が安心して安全に、そして自分らしく、生きがいを持ち、ここ大竹市で暮らしていただくためには、地域と行政、関係機関などの連携・協力による、きめ細かな福祉サービスを充実させ、併せて、市民相互の支え合い・助け合いによる地域福祉を向上させるための総合的な計画を策定し、取り組みを進めていくことが重要となってまいりました。

大竹市では、関係機関や関係団体から選出された方、公募に応じられた方など、市民の皆様の参画による策定委員会を設置し、住み良い地域社会の構築へ向けて検討、審議を行いました。そして、介護保険制度や障害者自立支援制度などに代表される公的福祉サービスと、地域住民の様々な絆と助け合いによる福祉活動、民間の提供する各種サービスなどが相互に連携する「支えあい共に生きるまちづくり」をキャッチフレーズとして、「大竹市地域福祉計画」を策定いたしました。今後は、本計画を大竹市の各種福祉計画の基本として位置付け、住み良い地域社会の構築に向けて鋭意取り組みを行ってまいりたいと考えております。

おわりに、この計画の策定にあたり、ボランティアとしてご就任いただき、1年を超える長期にわたって終始熱心にご検討、ご審議いただきました策定委員会委員の皆様をはじめ、アンケート調査、関係機関のヒアリングなどを通じて、ご意見、ご提案をいただきました多くの市民の皆様に深く感謝を申し上げます。

平成 19 (2007) 年 9 月



大竹市長 入山 欣郎